



塩化ビニール製のカプセルに感染者を収容し、ウイルスの拡散を防止しながら救急車で搬送します

コロナの2次感染を防ぐ 市防災協会連合会からアイソレータ寄贈

市防災協会連合会は、創立60周年を記念して、久留米広域消防本部に感染症対策搬送機材・ポータブルアイソレータを2台寄贈しました。新型コロナウイルス感染症を搬送する際、救急隊員や医療従事者への2次感染を防止する機材です。アイソレータの導入は県内で3例目。8月5日の寄贈式で、同会の喜多村浩司会長は「60周年を迎え、これまでの感謝を伝えたかった。市民の皆さんの安全を守る消防を支えるのが私たちの役割です」と話しました。

災害支援などに使用 ダイハツ九州 車両寄贈

令和2年7月豪雨災害を受けて、7月28日に久留米市はダイハツ九州から車両1台の寄贈を受けました。平成22年に続き2度目の寄贈です。車両は災害支援をはじめ、さまざまな用途に使っていく予定です。柳義人工場長は「浸水被害はありませんでしたが、市に工場がある私たちにも何かできることを、と思い寄贈に至りました。市の一助となって、市民の皆さんが1日でも早く普通の生活に戻ってもらえるように」と話しました。



車両の引き渡しを行った柳工場長（左）と中島年隆副市長

シリーズ 今、気づき、じんけん

共に生きる ②

自立した生活を営む 権利を考える



阪本信介さん

平成27（2015）年から久留米市生活自立支援センターの相談支援員として多くの人をサポート。社会福祉士や精神保健福祉士の資格を取得し、幅広い相談業務を行っています

新型コロナウイルスの発生で、生活に困っている人が増えています。一緒に悩みの解決に当たる主任相談支援員の阪本信介さんに聞きました。

その人に合った支援

久留米市は生活に困っている人に寄り添い、相談を受ける生活自立支援センターを平成27年から本庁舎3階に設置しています。

相談内容は多岐にわたり、経済的なことに限らず、仕事や人付き合いのことなどいろいろな相談を受けています。私たちは「断らない支援」、「諦めない支援」を意識しながら、相談者の話を聞いています。会話をしていく中で少しずつ何に困っているのか、どうしたいのかを聞き取ります。行政や民間の支援制度の中から、その人に合った生活の改善方法をさまざまな観点から提案。相談者の気持ちを受け止め、歩みを進める方法を一緒に考えます。

新型コロナで相談者は増加

最近では新型コロナの影響で4月から7月の相談数は昨年の約3倍に増えています。生活上困りご

とがなかった人たちが、急に生活に困るところまで落ち込んでしまっているんです。新型コロナに限ったことではなく、ちょっとしたことが積み重なって生活が成り立たなくなるほどの大きな悩みになってしまうことも。これは誰にでも起こる可能性があります。悩みを抱えること自体は悪いことではありません。相談し解決策を見つけて、改善すれば自立へのステップにつながります。

生活保護制度もその解決策の一つです。コロナの影響のほかにも離職や病気、仕事や住まいを失う人も。そうした状況が続く場合には、生活保護制度も含めた支援の提案を行っています。

自立するための手段

私たちが行う相談支援や生活保護制度は誰でも利用できるものであり、法律で皆さん一人一人に保障されている権利です。特に生活保護制度はインターネットなどで過剰に非難されることもあり、制度の利用に抵抗感を抱く人も多いようですが、そのような見方は間違っています。この制度は、失業などで生活に困った状態から立て直し、自立するための一つの手段なんです。少しでも困ったことがあったら気軽に相談してください。こうした困りごとを自分だけで解決するのは難しいです。地域でお互いを見守り、助け合い、関わり合う社会的な支援も大切です。もし周りに困っている人がいたら相談する場所があることを伝えてください。

☎生活支援第1・2課

(☎0942・30・9023、FAX 0942・30・9710)



相談スペースはコロナ対策をした個室になっています

市政の動き

総力挙げて事故防止

8月5日、交通事故抑止対策の出発式が、久留米百年公園で行われました。筑後地区と佐賀県東部の警察署が、初めて合同で開催。久留米警察署管内の交通事故は減少していますが、死者数は増えています。深野浩久留米警察署長は「交通事故防止は市民の願い。1件でも減らしてほしい」と訓示。ヘリコプター1機をはじめ、白バイ・パトカーなど43台が取り締まりに出発しました。市も青パトでパトロールを実施しました。

◎安全安心推進課 ☎0942・30・9094、FAX 0942・30・9706

特別取り締まりに出発する白バイ、パトカー



市ホームページ「交通事故に気を付けましょう」へ詳しくは、QRコード

WEB合同説明会

来年3月卒業予定の大学生などを対象に、8月2日にオンラインでWEB合同会社説明会が開催されました。市内の企業7社が久留米リサーチセンタービルから配信。20分で会社説明と質疑応答を行いました。学生はリモートで参加。ニシケンの栗本恵さんは「新型コロナウイルスの影響で学校での説明会ができず、会社を知ってもらうきっかけが少ない中、学生とつながる良い機会になりました」と語りました。

◎労政課 ☎0942・30・9046、FAX 0942・30・9707



画面越しに届く学生からの質問に回答するニシケンの担当者

市ホームページ「労政課」へ詳しくは、QRコード